



「雪に包まれる被災地」2011年

加川広重 巨大絵画が繋ぐ東北と神戸 2014

「南三陸の黄金」2012年

一 舞踏と能管による東北への志縁パフォーマンスー 『天ノ花 宙ノ風』

1月5日(日)17:00—

出演：舞踏／舞踏カンパニー今貂子＋倚羅座
今貂子、佐藤野乃子、ニコ、地案、高橋真理子
能管／野中久美子(風迢舎)

会場：デザイン・クリエイティヴセンター神戸 (KIITO) 1F

※入場無料・投げ銭制 (収入の一部を東北の復興への寄付といたします)

Photo:Hiroshi Mimura



Photo:Hoi Kisyu



◇舞踏カンパニー今貂子＋倚羅座◇

白虎社出身の舞踏家・今貂子主宰の舞踏ワークショップを母胎に、2000年結成。2005年ヨーロッパツアー。2007年より、京都・五條會館の連続公演に取り組み、2012年「花軍」2013年「閃光」では、文化庁芸術祭参加。

1613年の三陸大震災復興策として始まった日本スペイン交流400周年を顕彰した公演「¡Vamos!」ー舞踏∞フラメンコーを、2013年2月京都芸術センターで上演。芸能の源流にみられる“たまふり～命の活性化～”の力を現代に甦らせた、独自のアバンギャルドな舞踏の境地を切り拓き、京都を拠点に国際的に活躍中。

◇野中久美子(風迢舎)◇

能管奏者。能管を松田弘之(能楽森田流)に師事。能管の独奏のほか、世界の様々な楽器や舞、朗読との共演も行う。全国での神社寺院での奉納演奏も多く、海外遠征も行う。1998年より、京都・大徳寺大慈院で、「風響の会」を主催。2013年、能管と歌曲のコンサート「シューマン《詩人の恋》の世界」(京都・青山音楽記念館)を開催。笛の音は、地球の息吹である風が、人に身体を吹きぬけて人の耳に聞こえる響きに変じたものであるとの思いから、その響きが遙か彼方に吹き抜けるようお願い、「風迢舎」を主宰。



Photo:Hiroshi Mimura



問合せ：舞踏カンパニー今貂子＋倚羅座

E-mail ima_kiraza@yahoo.co.jp TEL 090-7098-2869

主催：加川広重巨大絵画が繋ぐ東北と神戸プロジェクト実行委員会

URL <http://gallery-shimada.com/kagawa/>

アクセス

デザイン・クリエイティブセンター神戸 (KIITO)

〒651-0082 兵庫県神戸市中央区小野浜町 1-4

デザイン・クリエイティブセンター神戸

電車：阪急、JR、阪神三宮駅よりフラワーロードを南へ徒歩20分、国道2号線を

超えた神戸税関の東向かい。ポートライナー貿易センター駅より、徒歩10分

バス：神戸市バス29系統三宮ターミナル前より乗車、

税関前(デザイン・クリエイティヴセンター前)下車

KIITO:
DESIGN AND CREATIVE CENTER KOBE
デザイン・クリエイティブセンター神戸